

二〇二五年度 後期 第四十六回 昇格・昇段検定試験要項 しめきり 十月十四日(火)

第四十六回昇格・昇段検定試験を左記の要領で実施いたします。

- ・毛筆の部に「助教」の上の段級として、硬筆部に合わせ「修士」・「準修士」を設けています。「助教」・「準修士」の方は、更なる研鑽と実力養成のため挑戦してください。
- ・毛筆の部「師範・準師範検定試験」の受験資格は「高士」以上。六段以上の方は更なる勉強のために昇格検定試験を受験し、師範試験を目指してください。

毛筆一般の部

第一種 (昇格の部)

修士・準修士の部			助教までの部		種別
助教・準修士			準六段以上準助教まで		対象
共通	かな	漢字	かな	漢字	課題
⑤半紙手紙文（半紙を縦長に使い縦書き。 漢字・かなの変換不可。句読点不要）	右の①～④と同じ	右の①～④と同じ	④書歴書 四十六ページに掲載	④書歴書 四十六ページに掲載	①半切創作 樓上離歌歇 江頭欽乃新 歸舟回首處 猶見倚欄人（樓上 離歌歇み 江頭 欽乃新たるなり 帰舟 首を回らす処 猶見る 欄に倚るの人 廣瀬淡窓）（書体随意） ②半切創作 幽人應未眠（幽人心に未だ眠らざるべし 韋應物）（書体随意。一行で書くこと） ③半切臨書 郊風図詩卷（董其昌） 四十六ページに掲載
「日増しに秋も深まるようになりました。十一月に松尾芭蕉も訪れたという滋賀三井寺に紅葉狩りにでかけませんか。微妙寺から観音堂へとつづく参道は紅葉のトンネルとよばれ、とても美しいとか。ご都合をお聞かせください。」			①半切創作 秋風にたなびく雲の絶えまよりもれ出づる月の影のさやけさ（藤原顕輔） ②半切創作 雲折をり人をやすむる月見哉（松尾芭蕉） ③半切臨書 関戸本古今集（伝藤原行成筆） 四十六ページに掲載		4,000 円
4,000 円			4,000 円		受験料

◎第一種合格者は、修士・準修士・助教・準助教・高士・準高士・六段の相当段位に昇格。

第一種（昇格の部）

③半切臨書課題（漢字） 郊風図詩巻（董其昌）



段位

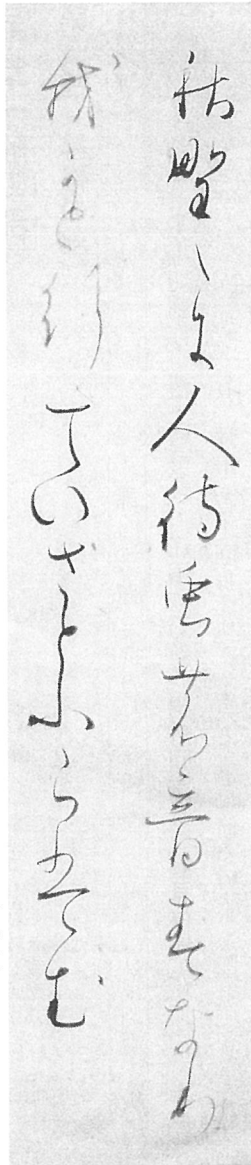
氏名（姓号）

（釈文）「明河寛羽紛相逐。詎舉三推古籍田」

明河の寛羽 紛として相い逐う。詎ぞ挙げん 三推 古籍田

寛羽 挙

③半切臨書課題（かな） 関戸本古今集（伝藤原行成筆）



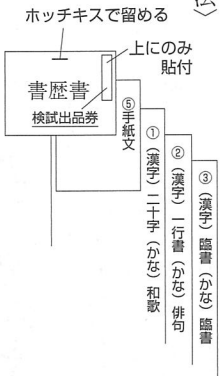
（釈文）

秋の、に人待虫の音すなり
我がと行ていざとぶらはむ

段位

氏名（姓号）

《提出方法》



毛筆の部「助教までの部」の作品は、①②③順にセットし、④書歴書を一番上にして必ずホッチキスでとめてください。なお、書歴書の右上に「検試出品券」を貼付してください（上図参照）。
毛筆の部「修士・準修士の部」は⑤作品を「書歴書」と①（漢字）二十字（かな）和歌の間にに入れてください。

④書歴書

（半紙を横にして
毛筆で、縦書）

書歴書
氏名
現段位
記入年月日

《注意》

住所・生年月日は
不要

⑤手紙文

（修士・準修士）

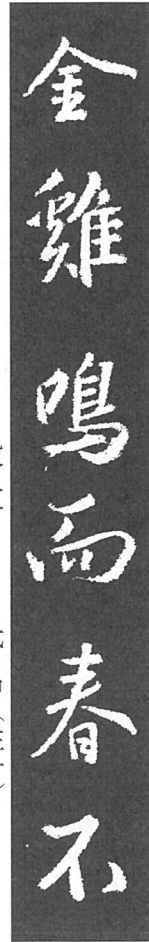
段位	氏名

※句読点は不要

第二種（昇段の部） ◎第二種合格者は、相当段位に編入する。

種別	対象	課 題	受験料
昇段の部	特級以上五段まで	漢字 ①半紙創作 静者心自妙（静者心自ら妙なり 王處厚）（行書体で書くこと） ②半紙臨書 興福寺断碑（王羲之） 四十七ページに掲載 かな ①半紙創作 白蓮のあまは咲けど静かなる（水原秋桜子） ②半紙臨書 関戸本古今集（伝藤原行成筆） 四十七ページに掲載	2,000円

②半紙臨書課題（漢字） 興福寺断碑（王羲之）

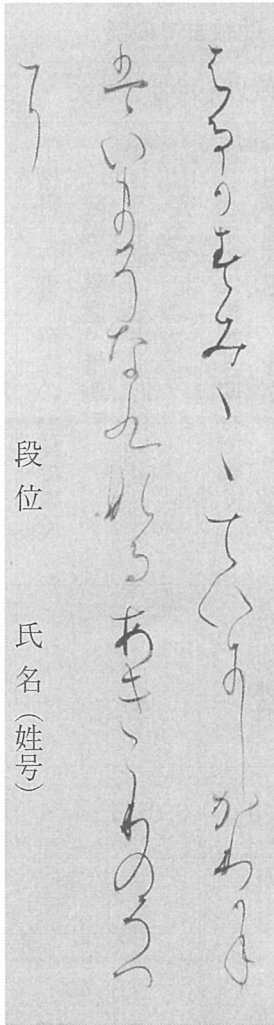


※一行目三字、二行目三字で

段位 氏名（姓号）

（釈 文）「金雞鳴而春不（曉）」 金雞鳴けども春は曉けず

②半紙臨書課題（かな） 関戸本古今集（伝藤原行成筆）



段位 氏名（姓号）

（提出方法）

（釈 文）はるがすみ／＼ていにしかりがねはいまぞなくなるあきりのうへに

毛筆の部第二種作品は①②順にホッチキスでとめ、作品の右上に「検試出品券」を貼付してください。

毛筆学生の部

初段以上五段まで						対象
高校	中学	五・六年	三・四年	一・二年	幼年	学年
日暮思親友	古今和歌集	日本の歴史	七つの海	早おき	くも	課 題
400円						受験料

◎半紙に縦書き

◎十月号での段位・氏名を記入。

◎中・高校生は行書も可。

◎合格者は相当段位に編入。

（例）

段位	くも
氏名	

漢字用

う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

かな用

う ら に の り づ け
検 試
現在の段
段
支 部 名
※決定段位

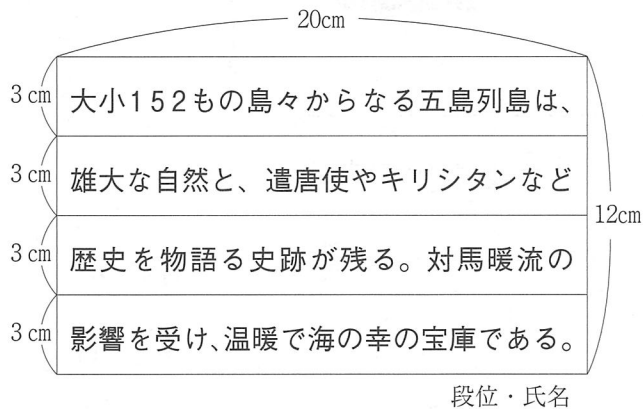
硬筆一般の部

種別	対象	課題	筆記具	受験料
修士・準修士の部	助教・準修士	① 楷書、行書、草書の三体で書く 「経過・熟慮・推測」 ② B5用紙に縦書き四行で書く 内容は左記 ③ B5用紙に横書き四行で書く 内容は下記 ④ 書歴書	黒色の水性 ボールペン サインペン 万年筆等 (筆ペン不可)	4,000円
助教までの部	五段以上準助教まで			3,000円

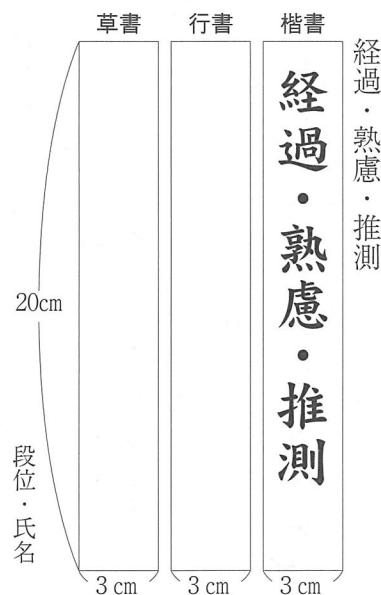
B5

※B5の用紙は白色に限る。罫線は各自で入れること。
(水明書道会館では一枚十円で販売しています)
※各作品の左下に段位・氏名を楷書で明記すること。

③口 (文字送りは自由)



①



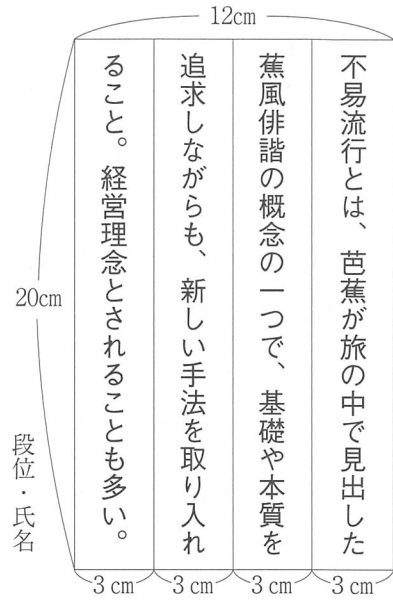
④ 書歴書

B5の用紙を横にして縦書。

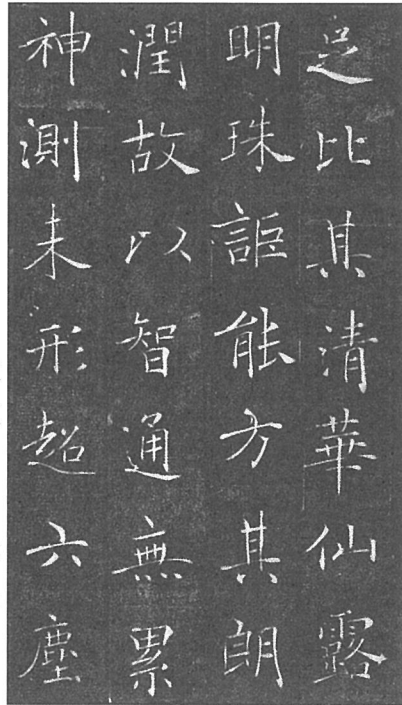
書歴書
氏名
現段位
記入年月日

〔注意〕
住所・生年月日は不要

②イ（文字送りは自由）



ハ修士・準修士臨書課題漢字（雁塔聖教序 唐 褚遂良）

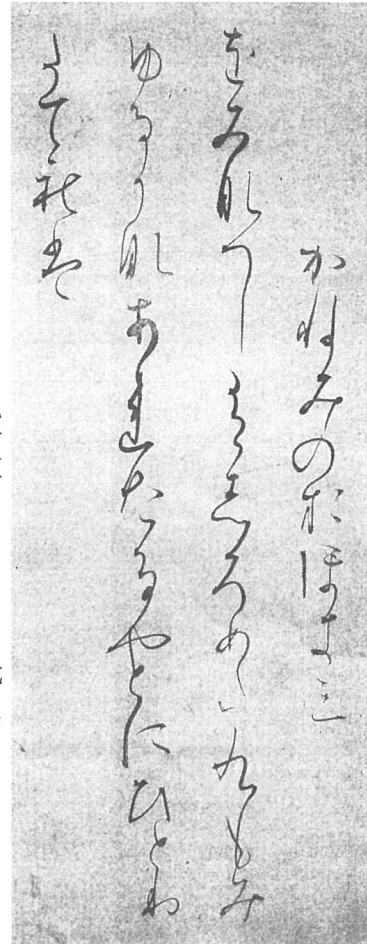


（釈文）

段位 氏名

「足比其清華。仙露明珠。詎能方其朗潤。故以智通無累。神測未形超六塵」
其の清華を比ぶるに足らず。仙露明珠も、詎ぞ能く其の朗潤に方べん。
故に智は無累に通じ、神は未形を測るを以て、六塵を超えて

二修士・準修士臨書課題かな（関戸本古今集 伝藤原行成筆）



段位 氏名

（釈文）

かねみのおほきみ
をみなへしうしろめたくもみ
ゆるかなあれたるやどにひとり
たてれば

硬筆用



（提出方法）
・「助教までの部」は、④の書歴書を上にして①②③の順でホッチキスでとめる。
・「修士・準修士の部」は、ホの書歴書を上にしてイロハニの順でホッチキスでとめる。

うらにのりづけ
検試
現在の段
段
支部番号
※決定段位

検定試験作品の提出について

支部で提出される先生方へ

「受験者名簿用紙」と「振替用紙」については、前回ご出品いただいた支部のみに送付いたします。

必要な場合は、水明書道会館までご連絡（TEL/FAX 075-566-3453 E-mail: suimei3453@zeus.eonet.ne.jp）ください。送付させていただきます。

作品の送付

① しめきり日は、十月十四日（火）です。厳守してください。

② 検定試験作品は、月々の競書とは別封とし、封筒の表に「検試作品」と朱書し、差出人の住所、氏名を明記してください。競書作品と同封されると、後着になります。ご注意ください。

③ 支部出品の場合、「受験者名簿用紙」に記入のうえ、検試作品を名簿順に並べ、名簿用紙を必ず検試作品と同封してください。

提出先 a 水明書道会館 〒605-0992 京都市東山区鞘町通り七条上る

下堀詰町246-4

b 京都古梅園 〒604-0916 京都市中京区寺町通二条上る

※郵送の場合は必ず水明書道会館に送付してください。

出品券記入の注意

イ 現在の段の欄は十月号の水明誌の成績をみてから記入してください。

ロ 作品の氏名と同一にしてください。

ハ 支部番号は平常の記入に準じ、※欄には記入しないでください。

受験料の納め方

十月十日（金）まで

支部：支部用の振替用紙にて納めてください。

個人：受験料を郵便局備え付けの「青色払込取扱票」にてお振込みください。

口座記号：009900-9
口座番号：298502
加入者名：一般社団法人水明書道会
※通信欄に「検試」と明記してください。

毛筆	一般の部	第一種	漢字・かな	各4,000円
		第二種	〃	各2,000円
	学生の部（後期のみ）			400円
硬筆	一般の部	準助教までの部		3,000円
		修士・準修士		4,000円

払込取扱票		振替払込請求書受領証	
00 京都	009900-9	009900-9	298502
一般社団法人 水明書道会		一般社団法人 水明書道会	
水明誌申込書（必要事項を正確にご記入ください）		金額 74000	
種別	振替	寄数	支部・整理番号
A. 支部購入（毎月購入） （2023年4月号～1冊600円）	月号	専修	
B. 個人購読（1年分前納） （2023年4月号～1年分）	月号より 1年分	専修 新撰 継続	
通信	検試	日	
加入者名	水明花子	附	
住所	京都市東山区鞘町通り七条上る下堀詰町246番地04	印	
電話番号	075-566-3453		
ご依頼人欄に、おとことろ・お名まえをご記入ください。（決闘番号 大園61988号）			
この下欄には何も記入しないでください。			

検試と記入